

令和8年9月定例会一般質問通告一覧表

< 9月8日（火曜日）質問者 >

通告順 1 五十嵐 良 一 議員 【分割質問】



長岡令和クラブ：3期
山古志虫亀

1 柏崎刈羽原発の再稼働問題について

- (1) 東電の不祥事への認識と対応について
 - ① 再稼働後も次々に明らかになる不祥事に対する市の認識と対応を伺う。
- (2) 原子力災害時の課題について
 - ① 熊本地震を踏まえた課題と、様々な原子力災害時の課題が解決に至っていないにもかかわらず、再稼働がされている状況への危機意識を伺う。
- (3) 市町村研究会実務担当者会議について
 - ① 国・県や東電からどのような説明があったのか伺う。
 - ② 各自治体からの質疑の状況を伺う。
 - ③ 再稼働後の柏崎刈羽原発の現状を、市町村研究会として確認すべきと考えるが、市の考えを伺う。
- (4) 県による拠出金の配分案について
 - ① UPZへの電気代補助を含む県拠出金配分案への、長岡市の基本的なスタンスを伺う。
 - ② 市民の再稼働に対する多くの不安は、拠出金で解消されるものと考えているように感じるが、市の考えを伺う。
 - ③ 今後、国・県や東電が、長岡市民のためにどういう対応をしていくべきか、市の考えを伺う。

2 市政の課題について

- (1) 子ども・若者の自殺対策について
 - ① 長岡市における、子ども・若者の自殺者数の現状を伺う。
 - ② 改正自殺対策基本法の施行と、国のこどもの自殺対策推進パッケージに対する市の認識を伺う。
 - ③ 教育委員会や医療機関等の関係機関と連携した取組等、今後の対応方針を伺う。
- (2) 長岡市の出産を取り巻く状況について
 - ① 長岡市における出生数の推移と、出産が可能な医療機関の状況について伺う。
 - ② 長岡市における無痛分娩の現状及び課題をどう捉えているか伺う。
 - ③ 子どもを安心して産み育てられるまちづくりに向けた支援の充実について伺う。
- (3) 道の駅ながおか花火館を核とした市全体の観光振興について
 - ① 道の駅ながおか花火館が長岡の観光拠点として定着する中、今後は子どもや家族連れを含む幅広い世代の誘客と市内周遊の促進が重要である。そこで、花火館を起点としたこれまでの周遊促進の取組、幅広い世代が楽しめる施設づくりに対する市の考え方、さらには花火館の集客力と情報発信力を活用した市内周遊の拡大と観光振興への今後の展開について伺う。



共産党市議団：7期
三和2

1 柏崎刈羽原発の再稼働問題について

- (1) 再稼働に対する県民意識調査について
 - ① 県民意識調査で再稼働に否定的な回答が多かったことについて、市の認識を伺う。
- (2) 地震大国の原発の安全性に対する認識について
 - ① 熊本地震や茨城県周辺地震など相次ぐ強い地震と原発の安全性に対する市の認識を伺う。
- (3) 熊本地震に類似の長岡平野西縁断層帯と柏崎刈羽原発の安全性について
 - ① 政府の地震本部は、長岡平野西縁断層帯が動いた場合、マグニチュード8程度の地震を想定しており、県は死者約8千人、避難者は最大約47万人を予想している。柏崎刈羽原発は大丈夫かと不安に思う市民は多いが、市の認識を伺う。
- (4) 実効性ある避難計画について
 - ① 冬季避難訓練や夜間避難訓練の実施状況を伺う。
 - ② 長岡市の病院や社会福祉施設等の施設数を伺う。
 - ③ 要配慮者の避難先を決め、避難手段や避難経路を早急に示すべきと考えるが、市の認識を伺う。
- (5) 安定ヨウ素剤事前配布について
 - ① 服用方法及び服用効果について伺う。
 - ② 配布される安定ヨウ素剤1回服用についての対応策を伺う。
- (6) 浜岡原発の不正データ問題について
 - ① 浜岡原発の基準地震動をめぐる不正は、原発の耐震安全性の根幹を揺るがす重要問題であるが、市の認識を伺う。
 - ② 地質調査を行った2社が柏崎刈羽原発でも調査に加わっているが、市の認識を伺う。
- (7) 東京電力の運転適格性について
 - ① 今年の7月に、運転員が緊急時に管理区域に入る扉が約34時間未施錠だったと発表があった。また、2月に運転員が自身のIDカードで同僚を退出させた不適切な行為があったが、改めて東電の運転適格性について、市の認識を伺う。
- (8) たまり続ける使用済み核燃料について
 - ① トイレなきマンション状態の原発から撤退し、自然エネルギーに転換すべきと考えるが、市の認識を伺う。

2 職員給与等の諸課題について

- (1) 職員数及び比率について
 - ① 正規職員数と会計年度任用職員数及び比率について伺う。
- (2) 職員の令和7年の平均給料月額について
 - ① 正規職員と会計年度任用職員の令和7年の平均給料月額を伺う。
- (3) 職員給与等の課題について
 - ① ラスパイレス指数が特例市最下位であることについて、市の認識を伺う。
 - ② 技術職等の職員採用は厳しさを増している。特例市最下位から、せめて中位に改善すべきと考えるが、市の対応策を伺う。

(4) 会計年度任用職員の昇給制度について

- ① 県内20市で昇給制度を整備している市数と新潟市の運用方法を伺う。
- ② 長岡市職員の約半数が会計年度任用職員であり、市民サービス向上や職員の意欲向上からも待ったなしの課題である。新潟市のような昇給制度の運用を求めるが、市の見解を伺う。

3 学校施設の諸課題について

(1) 体育館のエアコン設置について

- ① 子どもたちの教育環境整備や避難所の暑さ対策に必要な体育館エアコン整備について、熊本地震避難所の状況を踏まえれば、一刻も早い工事を願うが、現状を伺う。

(2) 校舎大規模改造工事について

- ① 現在、宮内小学校等で大規模改造工事が進んでいるが、計画と実施状況を伺う。



長岡令和クラブ：2期
学校町3

1 頻発化する災害への備えについて

(1) 頻発化する災害への備えについて

- ① 令和6年6月定例会において、災害時の情報収集及び情報発信を目的としたシステムの導入について質問した際、市長からは「デジタル技術を活用した効率化・省力化に取り組むことが重要である」との答弁があった。また、再質問に対しては、導入時期について「2年後を目途に導入したい」との考えが示された。そこで、その後の検討状況及びシステム導入の進捗状況について伺う。
- ② 現在、システムの導入が進められているのであれば、その機能及び運用方法の概要について伺う。
- ③ 被害状況の把握や情報共有、並びに情報発信について、従来と比較してどのような改善効果が見込まれるのか伺う。

(2) 迅速な避難者支援に向けた体制づくりについて

- ① 令和6年6月定例会において、能登半島地震を踏まえ、避難者情報の把握や避難所運営の効率化に資するデジタル技術の活用について質問したところである。能登半島地震においては、デジタル庁と防災DX官民共創協議会が連携してSuicaカードを活用した避難者管理を実施し、避難者の所在把握や支援物資の管理等において一定の効果があったとされている。こうした中、新潟県では市町村共同で避難者支援システム（避難所アプリ）を開発し、避難所受付や避難者情報の効率的な管理、支援活動の迅速化につなげることができると伺っている。そこで、本市における避難所受付体制の整備状況及びデジタル化への対応状況について伺う。
- ② 新潟県が開発した避難者支援システムは、事前登録した情報を二次元コードで読み取ることで避難所受付を迅速に行うことができ、災害時の避難者把握や支援の効率化に大きく寄与するものとする。本市においても、こうしたシステムの活用は有効であるとする。平時から市民への登録を促進し、災害発生時に円滑に活用できる体制を整えておくことが重要であるとするが、周知や利用促進にどのように取り組んでいるのか。また、8月30日の防災訓練で見てきた課題や今後の普及促進と運用体制の構築、導入・活用に対する考えについて併せて伺う。
- ③ 新潟県が開発した避難所アプリは、避難所受付にとどまらず、在宅避難時の対応や行政からのお知らせなど多くの機能を備えている一方、それに伴う課題も多く発生していると聞いている。しかし、避難所運営の効率化や迅速な支援につながる有効な取組であることに変わりはないとする。そこで、スマホ操作が困難な方への支援体制や避難所での通信環境の確保など想定される課題について、本市ではどのように認識し、対応しようとしているのか伺う。

(3) 災害・防災に特化した専門職員の配置について

- ① 本市においては、危機管理を担当する職員を配置しているが、災害対応が高度化、複雑化する中で、専門的な知識や経験を有し、防災対策を専任的に担う防災専門職員を配置することについて、本市の考えを伺う。
- ② 将来的に防災・危機管理専門官などの専門職の配置を視野に入れながら、防災人材の専門性を高める体制づくりを検討していただきたいと考えるが、市の見解を伺う。

通告順4 関 充 夫 議員 【分割質問】



長岡令和クラブ：5期
吉崎

1 支所地域の課題について

- (1) 持続可能な行財政運営プラン遂行に伴う地域課題について
 - ① 防災気象情報が変わった中で、7月26日に長岡市に初めてレベル4の危険警報が発せられた。市としてレベル4以上の警報など災害情報が発せられた場合に、支所地域ではどのような対応を取り対処しているのか伺う。
 - ② 支所地域の市有スポーツ施設の日常の維持管理は、どのようになされているのか伺う。
- (2) 地域間格差に結びつく課題について
 - ① 8月8日に開かれた子ども議会において、中学生議員の方からの質問でもあったが、新たにミライエで整備される居場所は、地域でのニーズも高いと思われる。支所地域においては、コミセンと連携した中で中学生向けのサードプレイスを開設したらどうかと考えるが、市の考えを伺う。
- (3) 地域政策としての地域の活力創生について
 - ① 支所地域は高齢化と少子化の進展で活力が減退している現状が見られる。子育てをはじめ、いかに支所地域でも安全・安心な暮らしを送れることを市の責務としてしっかりサポートする必要があると思う。要の支所も機能や人員の削減が進む中で支所地域それぞれが持つ課題解決こそ重要である。そのために地域政策部と支所のがつつりとした連携と、問題解決に向けた支所長裁量予算のさらなる拡充が必要と思うが、市の考えを伺う。
 - ② 今年度から以前の地域振興戦略部を地域政策部に改称したわけだが、政策ということで新たな支所地域の活力創生をどのように図っていく方針か伺う。

2 旧機那サフラン酒製造本舗整備について

- (1) 今後の整備方針について
 - ① 今年7月と8月の会派説明に関連して、2億円で購入した旧機那サフラン酒製造本舗の整備に今まで費やした総額は幾らになるのか伺う。
 - ② デザインビルドにコンセッション方式を加えた整備ということだが、デザインビルドは花火館整備でも取られた手法で、それにコンセッション方式まで加え完成後の運営まで一括にすることは、事業への参加の門を狭くすることにつながらないか懸念するが、コンセッション方式までを条件に入れた理由を伺う。
 - ③ どのような視点を重視した選考方法になるのか伺う。
 - ④ 整備費の内訳に9億円の起債と述べられているが、公債費の上昇との関係についての市の見解を伺う。
 - ⑤ 20年間の運営を予定されているが、その後どうしていく考えか伺う。
 - ⑥ 国の有形文化財としての市の認識を伺う。



市民クラブ：2期
与板町与板

1 発達に特性のある子どもと家族を支える支援体制について

- (1) 発達に特性のある子どもと家族を取り巻く現状と課題について
 - ① 発達に特性のある子どもとその家族を取り巻く現状について、本市はどのような課題を認識しているのか伺う。
- (2) 切れ目のない支援体制の構築について
 - ① 保育・福祉・保健など関係機関が連携した支援体制について、現在の取組と課題をどのように認識しているのか伺う。
 - ② 就学を機に支援が途切れることのないよう、教育分野を含めた関係機関との連携体制を今後どのように構築していく考えか伺う。
- (3) 保護者が希望を持てる子ども家庭政策について
 - ① 発達に特性のある子どもを育てる保護者が、将来への見通しと希望を持ちながら子育てできるよう、本市は今後どのような支援を目指していく考えか伺う。
 - ② 「子どもを支える」だけではなく、「子どもを支える保護者を支える」という視点を、今後の子ども家庭政策にどのように反映していく考えか伺う。

2 地域主体による持続可能な地域づくりについて

- (1) 地域主体の地域づくりに対する認識について
 - ① 人口減少や担い手不足が進む中、本市は地域主体による持続可能な地域づくりの必要性をどのように認識しているのか伺う。
 - ② 地域の観光協会や地域団体が抱える課題について、本市はどのように把握し、今後どのように支援していく考えか伺う。
- (2) 集落支援員制度（地域づくり支援員）の活用について
 - ① 集落支援員制度について、地域づくりや地域活性化の観点から現在どのような成果と課題があると認識しているのか伺う。
 - ② 地域主体の産業振興や地域経営を進める人材として、集落支援員制度（地域づくり支援員）をより効果的に活用していく考えはあるのか伺う。
- (3) 持続可能な地域経営について
 - ① RMOやDMOの考え方も参考にしながら、地域が自ら稼ぎ続ける仕組みづくりについて、本市は今後どのように取り組んでいく考えか伺う。
 - ② 地域資源を活かした持続可能な地域づくりに向け、行政と地域がどのような役割分担の下で連携していくべきと考えているのか伺う。



市民クラブ：1期
宮内2

1 これからの長岡を支える移動の在り方について

(1) 高齢運転者による交通事故防止について

- ① 本市における高齢運転者が関係する交通事故の現状と、事故防止に向けた課題認識について伺う。
- ② 運転に不安を感じながらも、生活上の理由から運転を続けざるを得ない高齢者の存在を、交通安全上の課題としてどのように捉えているのか伺う。
- ③ 高齢運転者本人への啓発に加え、家族や地域、警察等と連携し、早期の相談につなげるなど、事故を未然に防ぐための取組と、第12次長岡市交通安全計画への反映について伺う。

(2) 自家用車を使わなくても暮らせる移動環境について

- ① 長岡市総合計画に掲げる「公共交通を確保！自家用車を使わなくても安心して暮らせるまち」が目指す具体的な姿について伺う。
- ② 市民の日常生活の視点から、自家用車を使わずに暮らす上での地域ごとの移動課題をどのように把握し、地域の実情に応じた移動手段の確保と、次期地域公共交通計画への反映をどのように進める考えか伺う。

(3) 交通安全と移動支援を連携して進める取組について

- ① 市民・地域と協働した交通安全対策と、公共交通等による移動手段の確保を一体的に進めるため、関係部局が課題を共有するとともに、長岡市総合計画、第12次長岡市交通安全計画及び次期地域公共交通計画を相互に連携させ、自家用車を使わなくても安心して暮らせる長岡の実現を目指す考えについて伺う。



共産党市議団：2期
寿1

1 学校給食無償化について

- (1) 年度途中の給食費の値上げを抑える取組について
 - ① 6月補正で行った物価高騰対応学校給食費支援補助金の事業内容と評価について伺う。
- (2) 小学校の給食完全無償化の継続について
 - ① 令和9年度以降も小学校給食無償化を継続し、全額国の費用で実施するよう国に強く求めるべきと思うが、市の考えを伺う。
 - ② 国が今年度同様、標準額の支給にとどめた場合は、差額を市が負担し、完全無償化の継続を行っていただきたいと思うが、市の考えを伺う。
- (3) 中学校の給食完全無償化の実施について
 - ① 令和9年度以降、全額国の費用で中学校の学校給食の完全無償化を実施するように、国に強く求めるべきと思うが、市の考えを伺う。
 - ② 国が実施しなかった場合は、費用の全額を市が負担し、市独自で中学校の学校給食完全無償化を実施していただきたいと思うが、市の考えを伺う。

2 第10期介護保険事業計画について

- (1) 国の制度改正について
 - ① 特定地域の指定においては、介護の質の低下や介護サービスの地域格差が生じないようにしていただきたいと思うが、市の考えを伺う。
 - ② 利用料2割負担の拡大の検討が進められており、実施しないように国に求めていると思うが、市の考えを伺う。
 - ③ 要介護1、2の生活援助等の、市町村総合事業への移行の検討が進められており、実施しないように国に求めていると思うが、市の考えを伺う。
- (2) 本市の計画について
 - ① 介護給付費準備基金等を活用し、第1号被保険者の保険料の上昇を抑えるべきと思うが、市の考えを伺う。
 - ② 介護保険給付費の、国庫負担の拡大を求めるべきと思うが、市の考えを伺う。
 - ③ 低所得者でも利用しやすいよう、利用者負担額の少ない多床室を備えた特養ホームの建設を進めるべきと思うが、市の考えを伺う。

3 公営住宅等について

- (1) 大規模改修について
 - ① 公営住宅の大規模改修の実施状況について伺う。
- (2) 公営住宅の建て替えについて
 - ① 老朽化した公営住宅や、エレベーター設置が困難な公営住宅などの建て替えを進めていくべきと思うが、市の考えを伺う。
- (3) 公営住宅の風呂釜の設置について
 - ① 風呂釜が設置されていない公営住宅への設置を行うべきと思うが、市の考えを伺う。



無所属：3期
小国町新町

1 地域資源の保存・活用と次世代への継承について

- (1) 地域の歴史や文化などに関する地域主体の取組について
 - ① 地域住民や地域団体が主体となり、それぞれの地域に残る歴史や文化などの価値に気づき、学び、活用していく取組について、市はどのように認識しているのか伺う。
 - ② 地域主体の取組を継続し、地域への愛着や誇りの醸成につなげていくため、市はどのように後押ししているのか伺う。
- (2) 地域の宝磨き上げ事業の成果と課題について
 - ① 地域の宝磨き上げ事業について、これまでの取組を通じてどのような成果があったと評価しているのか伺う。
 - ② 人口減少や高齢化が進む中、地域の歴史や文化の次世代への継承について、どのような課題があると認識しているのか伺う。
- (3) 文化財保存活用地域計画を生かした持続的な保存・活用について
 - ① 文化財保存活用地域計画の認定を踏まえ、文化財や地域に残る歴史、文化を市民が知り、学び、活用し、次世代へ継承していくため、今後どのように計画を推進していく考えか伺う。
 - ② 文化財保存活用地域計画を実効性あるものとし、文化財や地域資源を将来にわたって保存・活用していくため、文化財所有者、地域住民、学校、文化施設、市民団体などとの連携を、今後どのように進めていく考えか伺う。

通告順9 神 林 克 彦 議員 【一括質問】



長岡令和クラブ：2期
岩野

1 関係人口の創出・拡大と移住定住の促進について

(1) ふるさと住民登録制度について

- ① 国が関係人口の見える化や地域の担い手確保を目的としてふるさと住民登録制度を創設したが、概要について伺う。
- ② 当制度の導入には多くのメリットがあると考えるが、見解を伺う。
- ③ 当制度に関するこれまでの国の動きへの対応及び制度導入の検討状況や導入可能性について伺う。

(2) 二地域居住について

- ① 国は地方への人の流れの創出・拡大につながる二地域居住の普及・定着を進めているが、本市の受け止めについて伺う。
- ② 特定居住促進計画を策定し、二地域居住や交流人口の拡大を目的とする先進事例が県内でも複数あるが、本市の受け止めについて伺う。

2 シティプロモーション及び情報発信の在り方について

(1) これまでのシティプロモーションの取組と現在の状況について

- ① 令和4年度まで展開した長岡シティプロモーション戦略の終了理由及び現在のシティプロモーションの在り方についての見解と、本年度のシティプロモーション推進事業費1,330万4,000円の事業内容について伺う。

(2) 長岡市の公式サイトについて

- ① 公式サイトの運用の方向性について及び管理運用状況について伺う。
- ② これまでの改良点や工夫点などの変遷について伺う。

(3) 長岡市の各種ソーシャルメディアについて

- ① 本市には分野ごとにソーシャルメディアの運用があるが、その活用及び運用状況はどうか。あわせて、その多様さを生かすために長岡市の公式サイトを活用し、より一層アクセスしやすい工夫が必要と考えるが、見解を伺う。
- ② ソーシャルメディアではフォロワー数や再生数などで実績を把握できると考えるが、その実績評価の在り方及びソーシャルメディアの果たす役割について見解を伺う。



長岡市公明党：3期
青葉台4

1 豪雨に備えた内水氾濫対策について

- (1) 激甚化する豪雨を踏まえた内水氾濫対策の強化について
 - ① 現在の雨水排水計画の進捗状況をどのように評価し、近年の降雨状況を踏まえてどのような課題があると認識しているのか伺う。
 - ② 雨水排水施設として重点的に進めている中央図書館駐車場地下への雨水貯留施設や川西地域における千秋が原ポンプ場の能力増強について、事業概要と整備によってどの地域に、どの程度の浸水軽減効果を期待しているのか伺う。
 - ③ 現在の道路冠水や浸水被害に対する事前準備、現場対応の取組状況をどのように評価しているのか、また、近年の豪雨の激甚化を踏まえ、今後さらに強化すべき課題をどのように認識しているのか伺う。
- (2) 内水氾濫リスクの見える化と市民への情報提供について
 - ① 現在作成を進めている内水ハザードマップについて、いつ頃、どのような内容で公表する予定なのか。また、洪水ハザードマップとの違いも含め、市民に分かりやすく周知し、日頃の備えや豪雨時の行動につなげていくか市の考えを伺う。
 - ② 雨水ポンプ場の稼働状況、雨水貯留施設の水位や貯留量の変化などを行政内部ではどのように監視し、豪雨時の判断に活用しているのか伺う。
 - ③ 今夏の豪雨災害を踏まえ、道路冠水など内水氾濫の発生状況を早期に把握する手法や、市民への迅速で地域に応じた情報提供の在り方について、今後研究・検討を進める考えを伺う。

2 ひきこもり支援のさらなる充実について

- (1) 相談者の増加と支援の長期化を見据えた持続可能な支援体制について
 - ① 相談支援室には、専門的な相談支援に加え、関係機関とのネットワークづくりや地域資源の開拓など、地域の支援体制そのものをつくる役割も期待される。今後3年、5年を見据え、ひきこもり相談支援室を中核とした支援体制をどのように発展させていく考えなのか伺う。
 - ② 相談者の増加と支援の長期化を見据え、必要な人員の確保や専門職の配置など、相談支援室の専門性をどのように強化していく考えか伺う。
- (2) 社会参加を支える地域資源の活用と支援ネットワークの実効性向上について
 - ① ひきこもり状態にある方の社会参加へのスモールステップという視点から、地域資源を発掘・整理し、本人の状態に応じてつなぐ仕組みの構築に対する市の考えを伺う。
 - ② これまで構築してきた支援ネットワークを生かし、個別支援の連携、地域課題の把握、地域資源の開拓といった具体的な動きにつながる仕組みへ、さらに発展させるべきと考えるが、市の考えを伺う。
- (3) 家族支援と地域の支援人材の活用について
 - ① 本市は、ひきこもり支援において家族会が果たしている役割をどのように評価しているのか伺う。
 - ② 市のひきこもり支援を補完する地域資源として、一定の役割を担う家族会について、公平性や自主性にも配慮しながら、国の支援制度の活用可能性や補助、事業協力も含め、活動の継続を支える仕組みを検討する考えはないか伺う。
 - ③ ひきこもりサポーターやピアサポート等の地域人材についても、その役割や活用方法を研究・検討する考えはないか伺う。

(4) 県・医療機関等との専門的な連携・支援体制について

- ① ひきこもり支援において、精神疾患や発達上の特性など、専門的な見立てや助言が必要となるケースがあることから、県保健所、精神保健福祉センター、医療機関等との連携を深め、相談支援室が継続的に専門的な助言や支援を受けられるバックアップ体制を構築・強化する必要があると考えるが、市の認識を伺う。

通告順 1 1 長 坂 将 志 議員 【一括質問】

1 採算の取れる生産者の米販売価格と家計を圧迫しない消費者の米購入価格について

(1) 2026年の J A 仮渡金の大幅な下落について

- ① 近年の J A 仮渡金の推移について伺う。
② 市はこの現状をどのように考えているか伺う。

(2) 政府備蓄米の買戻しについて

- ① 早期に適正な数量となるよう放出した備蓄米を買い戻すよう国に求めるべきと思うが、市の考えを伺う。

(3) 生産者の米販売価格と生産コストの差額補填について

- ① 販売価格が生産コストを下回った場合、差額を国が補填するよう国に求めるべきと考えるが、市の考えを伺う。
② 生産者が安心して米作りを継続できるような市の支援策についてと、今後、差額を補填するような独自の支援策についての考えがあるか伺う。

(4) 国の責任による米の安定供給について

- ① 米の生産と安定供給について、より責任を持って進めるよう国に求めていくべきと考えるが、市の考えを伺う。

2 河川の適切な維持管理について

(1) 河川内の堆積土砂及び樹木の撤去について

- ① 栃尾地域を含む河川内の堆積土砂の撤去や樹木除去について、市としてどのような認識を持っているのか。また、今後より一層の推進を市から県へ積極的に働きかけていただきたいと思うが、市の考えを伺う。



共産党市議団：1 期
北荷頃



ながおか新緑風会：1 期
悠久町 1

1 事業に関するデータの公開について

(1) データ公開に関する市の方針について

- ① 令和 6 年 6 月定例会において示された、事務事業評価という手法によらず、システムの更新の機会に職員の負担なくデータを公開できる仕組みを織り込み、市民と議会の議論に供していくという方針は現在も変わらないか、市の認識を伺う。

(2) 主要事業一覧について

- ① 令和 8 年度当初予算（案）主要事業一覧を新たに作成し公開することとした狙いと、これをどのように活用していく考えか伺う。
- ② 主要事業一覧に掲載する事業をどのような基準で選定しているのか伺う。
- ③ 市が現在実施している事務事業は全体で何件あると把握しているのか伺う。

(3) システム更新の機会と今後の対応について

- ① 財務会計システムを含む内部情報系システムの更新に際し、データ公開の仕組みは織り込まれたのか、また、織り込まれなかった場合はその理由を伺う。
- ② 主要事業一覧に、事業ごとの成果指標と目標値、前年度の実績及び評価の結果を書き加えてはどうかと考えるが、市の見解を伺う。

2 市財政の見通しと第 2 期持続可能な行財政運営プランについて

(1) 飲食料品の消費税減税の影響について

- ① 飲食料品の消費税減税が本市の地方消費税交付金に与える影響額について、市の見解を伺う。

(2) 歳出の見直しの考え方について

- ① 歳出の見直しを行う場合、市はまず福祉や子育てに関わる予算を縮減することを想定しているのか、市の認識を伺う。

(3) 第 2 期持続可能な行財政運営プランについて

- ① プランの前提となっている国立社会保障・人口問題研究所の推計人口と、令和 7 年国勢調査人口速報集計との間に乖離が生じていることを踏まえ、財政見通しの再試算と改善効果目標の再設定が必要ではないかと考えるが、市の見解を伺う。

通告順13 藤井達徳議員 【一括質問】



長岡市公明党：6期
曲新町3

1 防災・減災対策について

(1) 8月8日の山古志豪雨災害について

- ① 道路、河川、養鯉池、農地などの被害状況と、市の受け止めについて伺う。
- ② 復旧に向けて補助金の活用も含めた、市の今後の対応について伺う。
- ③ 新潟県道23号柏崎高浜堀之内線の被害状況と、冬期間における高齢者等の移動を含めた、今後の対応及び復旧の見通しについて伺う。

(2) 夏場の防災対策について

- ① あらゆる夏場の防災対策を議論する検討会などを立ち上げ、対策を進める必要があると考えるが、市の認識と今後の対応について伺う。
- ② スポットクーラー及びポータブル電源について、これまでの整備状況と、未整備の避難所についても整備が必要と考えるが、今後の整備予定について伺う。
- ③ 学校体育館における冷房設備の整備方針及び全体の整備計画について市の考えを伺う。
- ④ 政府の前倒しの動向を踏まえて、市内の小中学校屋内体育館の冷房設備の設置計画の前倒しについて、市の考えを伺う。
- ⑤ 自宅や車中で避難を続ける、いわゆる見えない避難者の実態把握の方法やその支援体制の構築については、平時から取り組む必要があると考えるが、市の認識と対応について伺う。
- ⑥ 市では新潟県避難所アプリの活用を考えているようだが、市民の登録を平時からどのように進めていくのか、また、登録から漏れた避難者の把握や支援についてはどのように考えているのか伺う。
- ⑦ 2次避難についての市の認識と、今後の方向性について伺う。
- ⑧ 水道管の耐震化の進捗状況と、今後の給水体制の強化について伺う。
- ⑨ 今回の熊本地震における職員の派遣活動と、被災地で得た知見について伺う。

(3) 都市型豪雨災害への対応について

- ① 市道のアンダーパスについて、設置及び管理状況について伺う。
- ② 市道のアンダーパスについて、浸水時の侵入防止対策の現状と課題について伺う。
- ③ 国の通知を踏まえて、監視カメラの設置やエア遮断機の増設等、アンダーパスの安全対策の強化が必要と考えるが、市の認識と今後の対応について伺う。
- ④ 都市型豪雨災害はどこでも起こり得る課題であり、千葉豪雨の教訓を生かし、市民やドライバーへの啓発活動が重要と考えるが、市の認識と今後の対応について伺う。



無所属：7 期
信濃 2

1 原子力防災について

(1) 防災の基本姿勢について

- ① 令和 8 年熊本地震は猛暑との複合災害と言われている。2016 年の糸魚川市大規模火災は木造住宅の密集地での発災に強風が加わった。最悪の事態を想定して対策を立てることは防災の基本であり、原子力防災についても同様の姿勢が求められると考えるが、市の認識を伺う。

(2) 想定する事態について

- ① 市はどのような事態を想定しているのか伺う。

(3) 避難計画について

- ① 想定する事態に対応する避難計画の実効性について伺う。

2 学級編制の再編について

(1) 学級編制の手順と権限について

- ① 本年 5 月、本市の 3 校を含む県内 8 校の小・中学校で新潟県の基準である 35 人を超える学級編制が明らかとなり、県から基準に沿うよう再編制の指導があった。学級編制を決定する手順と権限について伺う。

(2) 本市の 3 校の状況について

- ① 教職員の配置上は 1 学級 35 人以下とすることが可能であったが、35 人を超える状況が生じた 1 校について、その理由を伺う。
- ② 教職員が確保されなかった 2 校の現状と現場の声について伺う。

(3) 35 人超の学級編制となった経緯について

- ① 県、市、学校との意思疎通の状況を時系列で伺う。
- ② 教職員の確保ができなかった理由について伺う。

(4) 教職員が確保されなかった 2 校の今後について

- ① 児童・生徒にとっての最適な時期について伺う。
- ② 教職員確保の見通しを伺う。

(5) 今後の学級編制について

- ① 教職員不足の時代における学級編制についての見解を伺う。



長岡令和クラブ：1期
十日町

1 子どもの多様な活動機会を確保する環境づくりについて

(1) 部活動地域展開後の活動機会について

- ① 休日の部活動地域展開開始後、平日の学校部活動について、各中学校の活動日数や活動時間の実態を把握しているのか。また、学校間で活動機会に差が生じている現状をどのように認識しているか伺う。
- ② 平日部活動における子どもの活動機会の確保について、どこまでを各学校や学校長の裁量に委ね、どこからを市が担うべき役割と考えているのか、その責任と役割について伺う。

(2) 子どもが実質的に活動を選択できる環境について

- ① ながおかC o m e 100 クラブに参加していない子どもについて、活動を選ばなかったのか、選びたくても選べなかったのか、子どもの状況や背景を継続的に把握し、現在行っている支援の効果を検証する考えはあるのか、どのように把握していくのか伺う。
- ② ながおかC o m e 100クラブを希望する子どもが参加しやすい環境を整える上で、市は現在どのような課題があると認識しているか。また、それらの課題に対して現在どのような対応を行っており、今後どのように取り組んでいく考えか伺う。

(3) 子どもの希望を起点としたジュニア活動環境の実現について

- ① 長岡市ジュニア活動環境全体構想に掲げる多様な活動環境について、現時点でどこまで整備が進んでいるのか。また、どのような課題が残っていると認識しているのか伺う。
- ② ながおかC o m e 100クラブに参加している子どもだけでなく、参加していない子どもの状況や声も把握し、ジュニア活動環境全体構想の見直しや、新たな活動環境の整備につなげていくことについて、市の考えを伺う。

(4) 子どもの活動を支える教育資源について

- ① 部活動地域展開が進む中、学校が保有する施設・設備・備品等について、子どもの活動を支える教育資源という観点から、その活用、維持及び更新をどのように考えているか伺う。
- ② 楽器に限らず、子どもの学びや活動を支える教育資源について、必要な公費負担を基本としつつ、楽器寄附ふるさと納税をはじめとした寄附制度や企業・地域との連携など、多様な手法を活用して資源や財源を確保していく考えはあるか伺う。

2 子どもの声を政策形成につなげる取組について

(1) 子どもの声の政策への反映とフィードバックについて

- ① 長岡市教育大綱に掲げる教育の基本理念の実現に向け、現在市では、子どもたちの意見を子どもに関する政策に反映するために、どのような取組を行っているのか。また、今後、政策形成にどのように生かしていく考えか伺う。
- ② 子どもたちの意見を聞くだけで終わらせず、検討経過や判断結果を、その理由も含めて子どもたちへ返していく取組を進めていく考えについて伺う。



ながおか新緑風会：1期
関原町1

1 長岡まつり大花火大会後の帰宅困難者発生と再発防止について

- (1) 市長発言について
 - ① J R東日本への列車増発等の提起に関する市長発言について伺う。
- (2) 帰宅困難者を発生させないための今後の対策について
 - ① 来年度に向けた関係者との連携体制や、帰宅困難者を発生させないための今後の対策について伺う。

2 救急隊員の感染防止衣と熱中症対策について

- (1) 東京消防庁を参考にした救急隊員の感染防止衣と熱中症対策について
 - ① 現在、長岡市消防本部ではどのような基準で感染防止衣を着用しているのか。東京消防庁の事例も参考にしながら、感染リスクと熱中症リスクを比較した上で、状況に応じた感染防止衣の基準見直し等、救急隊員の熱中症対策について伺う。

3 P T Aにおける保護者の自由意思の尊重と個人情報の適正な取扱いについて

- (1) P T A会費徴収に係る口座情報利用の同意確認について
 - ① 市内小・中学校 79 校のうち、P T A会費徴収のため、学校が保有する口座情報を使用することについて、保護者から明確な同意を確認している学校は何校か。また、今回の調査で口座情報の利用に同意しなかった家庭の中に、P T Aに入会していない、または入会する意思がないと回答した家庭はあったのか。あわせて、同意確認を実施していない学校がある場合、どのような方法で適正な運用へ改めるのか、今後の対応を伺う。
 - ② 提出がない保護者への会費納入方法の相談は、P T A業務でありつつ、学校職員が対応していると考ええる。未提出者の氏名、連絡先及び未提出という情報を、P T A業務になぜ利用できるのか伺う。
- (2) 学校が保有する個人情報の取扱いについて
 - ① 学校が保有する個人情報の利用目的の特定について認識を伺う。
- (3) 保護者のP T A加入の有無を理由とする児童・生徒への不利益防止について
 - ① P T A未加入を理由とする児童・生徒への不利益防止について、市P連や学校に対してどのような周知や対応を行ったのか、もしくは行う予定なのか伺う。